

# 7 音楽科

## (1) 観点別学習状況の評価例

<b>■教科の目標</b> <small>※『学習指導要領』参照</small>	<b>知識及び技能</b>	<b>思考力・判断力・表現力等</b>	<b>学びに向かう力・人間性等</b>
<b>■教科の「評価の観点及びその趣旨」</b> <small>※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照</small>	<b>知識・技能</b> <1年> 知 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 技 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 <2,3年> 知 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 技 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	<b>思考・判断・表現</b> <1年> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 <2,3年> 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b> <全学年共通> 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             ★1つの題材で知覚する音楽を形づくっている要素は、1年:2~3種、2,3年:3~4種程度である。1年生は、自分なりに考えて表現及び鑑賞すればよいが、2,3年になると、曲にふさわしい表現や根拠をもった批評が必要です。           </div>
<b>○授業の構想と学習評価例</b>  <b>●曲名</b> <b>▲楽器名</b>  <b>音楽を形づくっている要素の例</b> <b>1年と2,3年の違い(★吹き出し参照)</b>	<歌唱> 知 「●」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 技 創意工夫を生かした表現で「●」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 <器楽> 知 ▲の音色や響きと奏法などとの関わりについて理解している。 技 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 <創作> 知 音素材の特徴及び音の重なり方の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。 技 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。 <鑑賞> 知 「●」の曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。	<歌唱> 思 「●」のリズム、速度、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、「●」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 <器楽> 思 ▲の音色、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 <創作> 思 音色、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 <鑑賞> 思 「●」の音色、旋律、強弱、速度、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	<歌唱> 態 「●」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 <器楽> 態 ▲の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 <創作> 態 音色、旋律、テクスチャ、構成の違いによる音楽が生み出す雰囲気や表情などの変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 <鑑賞> 態 「●」の音色、旋律、強弱、速度、テクスチャの違いによる音楽が生み出す雰囲気や表情などの変化に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## (2) 年間指導計画

### 音楽科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

## ① 第1学年

### 音楽科 第1学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

月	題材名 (時数)「曲名」	指導内容	評価方法
4	●思いをこめて歌おう(3) 「区歌」「校歌」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	・授業の様子 (観察・発言等)
5	●音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう(4) 「かめ」「天国と地獄」「春」	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	・振り返りカード (自己評価)
6	●曲想やアルトリコーダーの特徴を理解して、器楽表現を工夫しよう(4) 「喜びの歌」「さんぽ道」「オーラリー」「アニーローリー」「虹の彼方に」	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	・ワークシート (ファイル、ロイロノート含)
7	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容、声部の役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう(8)	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割について理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	・実技発表
9	校内合唱コンクール「課題曲」「自由曲」		
10	●曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう(2) 「魔王」 ●日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう(3) 「赤とんぼ」「浜辺の歌」	●曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	・作品 ・定期考査
11	●日本の民謡の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう(7)	●日本の民謡の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
12	「ソーラン節」「酒つくり歌」「江戸の鳶木遣」「江差追分」「黒田節」「谷茶前」「江戸子守歌」「五木の子守歌」	●声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	
1	●日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう(2) 雅楽「平調 越天楽」	●曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
2	●フレーズ・アーティキュレーション・旋律の動き方から生み出される曲想を理解して、器楽表現を工夫しよう(5) 「I Got rhythm」「海に見える街」 ●言葉のまとまりや抑揚、音のつながり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう(5) Let's Create!	●曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 ●言葉のまとまりや抑揚、音のつながり方や反復、変化などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	
3	●仲間とともに、表情豊かに合唱しよう(2) 卒業式歌、入学式歌、国歌「君が代」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	

## ② 第2学年

音楽科 第2,3学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

月	題材名（時数）「曲名」	指導内容	評価方法
4	● 拍の流れや形式を理解して、歌唱表現を工夫しよう(3) 「夢の世界を」「夏の思い出」	● 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	・授業の様子 (観察・発言等)
5	● 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう(6)	● 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	・振り返りカード (自己評価)
6	「交響曲第5番ハ短調」第一楽章 杉並区音楽鑑賞教室プログラム曲		・ワークシート (ファイル、ロイロノート含)
7	● 曲想と音楽の構造や歌詞の内容、声部の役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう(8)	● 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割について理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	・実技発表
9	校内合唱コンクール「課題曲」「自由曲」		・作品
10	● 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう(3) 「フーガ」短調	● パイプオルガン(楽器)の音色や声部の役割などの音楽の構造について理解し、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	・定期考査
	● 音のつながり方や組合せ方を理解して、創作表現を工夫しよう(3) 「My Melody(カノン進行)」	● 音のつながり方や組合せ方を理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	
11	● 総合芸術の魅力を味わおう(6)	● 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
12	オペラ「アイダ」、歌舞伎「勸進帳」	● 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ● 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	
1	● 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう(4)	● 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	
2	連作交響詩『我が祖国』より「ブルタバ」		
3	● 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう(2) 卒業式歌、入学式歌、国歌「君が代」	● 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。	

### ③ 第3学年

音楽科 第2,3学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

月	題材名（時数）「曲名」	指導内容	評価方法
4	●日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう(2) 「花」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	・授業の様子 (観察・発言等)
5	●ポピュラー音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう(2) ※著作権、生活や社会の中の音楽を含む 「The Thrills Gone」「Sing Sing Sing」「Oh Happy Day」 「Country Roads」「Georgia On My Mind」 「Smoke on the Water」「Help!」「We will rock you」 「Stand By Me」	●曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。	・振り返りカード (自己評価)  ・ワークシート (ファイル、ロイロノート含)  ・実技発表
6	●コード進行に沿った創作表現を工夫しよう(3)	●コード進行をもとに音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくる。	・作品  ・定期考査
7 9	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容、声部の役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう(8) 校内合唱コンクール「課題曲」「自由曲」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割について理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	
10 11	●ギターを弾き語りしよう(4) 「Stand By Me」「カントリーロード」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、英語の発音の特徴について理解し、曲種に応じた発声で、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。  ●曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	
12 1 2	●日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう(12) 箏曲「六段の調」、尺八曲「巢鶴鈴慕」 能「敦盛」、箏重奏曲「お江戸日本橋」	●我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。  ●箏(楽器)の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。	
3	●仲間とともに、表情豊かに合唱しよう(4) 卒業式歌、国歌「君が代」	●曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	